管理部屋数が3500室突破

住み替え可能な定額制賃貸

クロスハウス（東京都渋谷区）鳥井淳史社長（40）

サブスクリプション型住居サービス『クロスハウス』を提供するクロスハウス（東京都渋谷区）は、管理部屋数が3500室を突破したと6月28日に発表した。

『クロスハウス』は都内の管理物件内であれば定額で住み放題、移動し放題のサービスだ。初期費用3万円と月額料金を払えば、共有住居空間であるコリビングを持つシェアハウス型の物件を、無料で住み替えすることができる。一部の物件では鍵の受け渡しで対面が必要だが、それ以外では物件探しから契約までウェブ上で完結し、対面での契約も不要だ。

▶管理するシェアハウスの個室タイプの居室

従来の賃貸住宅では、契約書への記入が必要で、重要事項説明などを対面で受けなければならない。また、一度、賃貸借契約をすれば数年住み続けるのが基本だ。こうした従来の常識とは違う住み方を提供するのが、同社の『クロスハウス』だ。

さまざまな物件に住めるだけでなく、部屋タイプを選ぶこともできる。部屋タイプのラインナップは、シェアドアパートメント、個室やドミトリーなどのシェアハウス、家具付きワンルームなどがある。転職や就職、就学などライフスタイルに合わせた利用以外に、海外や地方から来る人にも人気が高く、問い合わせは月間で約1000件にのぼっている。

同社の鳥井淳史社長は「今後は、都内だけでなく地方や海外にも展開していきたいと考えている。人々が世界中のどこでも簡単に住めるようなサービスを目指す」と語る。

ドクターが直伝 病状と対策 A to Z

整形外科に必須の関節鏡

⑦日本から世界に普及した医療技術

亀田京橋クリニック

2013年8月に東京都中央区京橋に開業した亀田総合病院（千葉県鴨川市）のサテライトクリニック（院長 清水幸子）。人間ドックなどの健診のほか、内科やトラベル・ワクチン外来、婦人科や乳腺科など女性特有の疾患の外来も充実している。

膝関節に限らず、整形外科領域での治療は飛躍的に進歩しています。かつては関節内の病変を調べる際には、関節を曲げ伸ばしたりねじったりした際のひっかかりなどを診る徒手検査や造影剤を注入してレントゲン撮影をする画像検査しかありませんでした。そのわずかな情報を手掛かりに関節を大きく開けて手術をしていたのです。影絵のような画像と臨床所見のみを頼りに行うのですから、治療する医師の臨床経験と勘、患者と医師の信頼関係によるものと言えるでしょう。

ところが、MRIなどの画像検査と関節鏡と呼ばれる内視鏡手術の普及により著しく診断・治療は進歩しました。MRIは磁場の力で半月板、靭帯（じんたい）、軟骨などの軟部組織の描出が可能で、磁場の強さも画像の細かさも日々進歩しています。また現在、関節鏡は整形外科（特にスポーツ医学）にとって、なくてはならない必須のアイテムとなっています。スポーツ医学は米国でさらに進歩しており、私も関節鏡を用いた靭帯再建手術の研究のために、米国ピッツバーグに留学しました。しかし、この関節鏡、実は日本で開発され世界に普及したものです。

1918年に高木憲次先生（のちに東京帝国大学教授）が膀胱（ぼうこう）鏡で屍体（したい）膝関節内の観察をしたのがきっかけです。その後、高木門下生の渡辺正毅先生（東京逓信病院整形外科部長）が関節鏡の開発および臨床応用に尽力します。さらに池内宏先生は、ただ関節内を観察するのみならず鏡視下に半月板を切除するなどの治療に応用していきます。その当時、世界各国からその新しい技術を習いに若いドクターが日本を訪れています。のちに彼らが世界をリードする名医になっているのですが。池内先生は膝関節の解剖学的研究も行いました。私は、池内先生の弟子である押田翠先生（元・日本大学医学部整形外科学教室客員講師）の指導のもと膝関節解剖（とくに半月板）で学位を取得しました。

日本の医療技術の高さや独創性でさらに多くの患者様に恩恵を与えられるよう我々も努力したいと思っています。亀田メディカルセンター・スポーツ医学科でも関節鏡を駆使した最小侵襲手術を行っています。

（亀田京橋クリニック スポーツ医学科 加藤有紀医師）

（毎月第2・4週掲載）

◇◇◇ 今週の玄関ネタ ◇◇◇

毎月の指定ゴミ袋贈呈でトラブルゼロ

敷地内に交流スペースを設置 入居者コミュニティーづくりを計画中

◆厳重なセキュリティーで物件を守るのは、粕谷博幸オーナー（51・東京都小平市）。6棟が立つ敷地を、高さ2・2mの有刺鉄線付きの塀で囲み、1カ所だけある出入り口には防犯カメラを設置している。ここまでこだわるのは女性かつ学生専用の物件だからだ。門限夜9時という規則に、「不満そうな入居者もいるが保護者には好評だ」と笑う粕谷オーナー。6年前に敷地内に交流スペースの小屋を建てた。6～7人入れる広さにテーブルや椅子を置き、お菓子や飲み物も常備。「せっかく60人もの入居者が集まって暮らしているのだからコミュニティーをつくりたい」と考えたが、まだ利用者は少ないようだ。「何かイベントを開催して入居者同士が仲良くなるきっかけをつくりたい」と、現在、計画中。

調理師免許を持つ社長 将来の夢はお茶漬け店

◆レ・コネクション（京都市）を率いる奥田久雄代表（35）の実家は、飲食店。その環境からか、「得意料理はハンバーグ」という料理好きの奥田代表。実は起業前、京都の歓楽街「先斗町」の創作料理店で修業を積んでいた。「調理師免許を取得し、実家を継ぐことも考えたが、飲食店で生計を立てるのは難しいと思った」と過去を振り返る。一度はあきらめた夢だが、やはり血は争えないもの。近い将来、京都らしいお茶漬け店を開業したいと野望を語る。

結婚式に3度の招待受ける 慕われるオーナーの人柄

◆千葉県に2棟20戸を所有する藏田卓矢オーナー（46・東京都台東区）は、家主歴9年にして入居者の結婚式に3度招待されている。慕われる理由を探ると、藏田オーナーの人間味にあるようだ。自主管理する千葉県市川市の物件については、毎月、家賃の振り込みへの感謝の思いを手紙にし、市指定のゴミ袋と合わせてポストに投函（とうかん）。さらに「ただ私が飲みたいだけ」と言うが、専業家主になる前から年に2～3回はオーナーのポケットマネーで入居者との飲み会を開催。過去の入居者も集ってのにぎやかな宴会となる。「家賃滞納やトラブルが怖くて始めただけです」と藏田オーナーは謙遜するが、実際のトラブルはゼロ。オーナーの人柄が良好な関係を築いている。

（次面に続く）

知恵の泉

◇日宣（東京都千代田区）の会議テーブルに置かれているミーティング30分チャレンジのPOP。

▶打ち合わせや商談に熱が入り、なかなか30分以内に終えることは難しいと担当者

契約済物件の消し忘れにご注意を

うっかりミスでも「おとり広告」になります！ 物件情報は定期的に更新しましょう

「違約金」の措置を受けた場合、原則として1か月以上、広告掲載を停止する施策を
不動産ポータルサイト10サイト（※）と連携して実施しています。
※アットホーム・健美家・SUUMO・スマイティ・CHINTAI・ハトマークサイト・マイナビ賃貸・
ヤフー不動産・LIFULLHOME'S・ラビーネット不動産

公正表示 公正競争規約加盟

ー当協議会は、不動産広告のルールを運用する不動産業界の自主規制団体ですー

公益社団法人
首都圏不動産公正取引協議会
東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル3階
☎ 03-3261-3811
不動産公取協 検索
https://www.sfkoutori.or.jp/